

日興・DWS・ニュー・リソース・ファンド

愛称：ライジング・トゥモロー

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第14期（決算日：2020年12月10日）

作成対象期間（2019年12月11日～2020年12月10日）

| 第14期末（2020年12月10日） | |
|-----------------------------------|----------|
| 基準価額 | 13,818円 |
| 純資産総額 | 9,622百万円 |
| 第14期 （2019年12月11日～2020年12月10日） | |
| 騰落率 | 36.9% |
| 分配金合計 | 0円 |

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「日興・DWS・ニュー・リソース・ファンド（愛称：ライジング・トゥモロー）」は、2020年12月10日に第14期の決算を行いました。当ファンドは、主としてマザーファンドへの投資を通じて、グローバルな需要のシフト（変化・増大）から、今後成長が期待される3つのテーマに関連する世界各国の企業の株式を中心に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

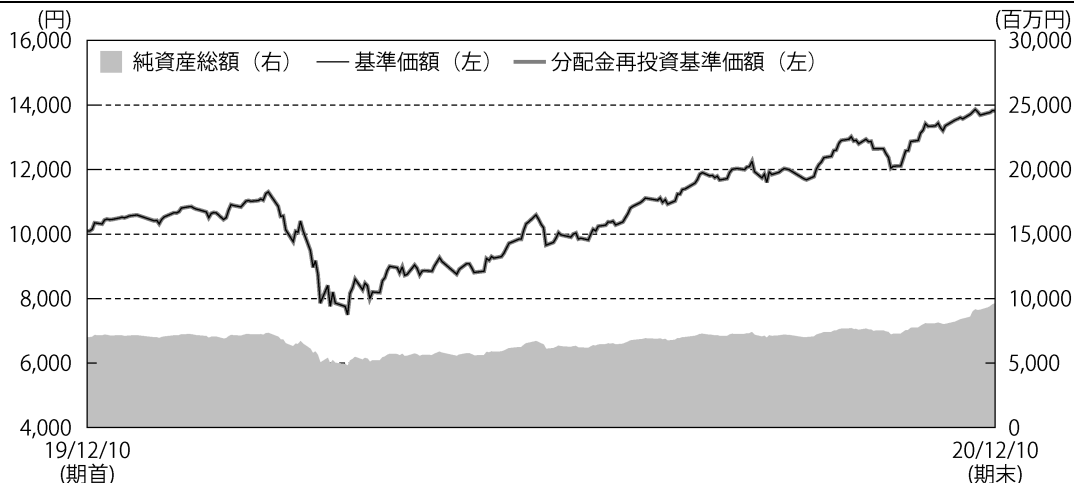
<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

■基準価額等の推移について

(2019年12月11日～2020年12月10日)



第14期首：10,092円
 第14期末：13,818円（既払分配金0円）
 騰落率：36.9%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、グローバルな需要のシフト（変化・増大）から、今後成長が期待される3つのテーマ（水・農業・代替エネルギー）に関連する世界各国の企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

世界株式市場で株価が大きく上昇したことが基準価額にプラスに寄与した一方、為替市場で米ドル安円高が進んだこと等がマイナスに働きました。また、欧州でコロナ禍からの経済復興としてグリーン・リカバリーが進められていることや、バイデン氏が米大統領に就任すれば太陽光・風力発電の普及や省エネの推進等が行われるとの期待が広がったこと、低金利環境や導入コストの低下等を背景に株価が大幅に上昇した太陽光発電設置会社や太陽光・風力発電所運営会社、風力タービンメーカー等をマザーファンドで保有していたことがプラスに寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 当 期 2019年12月11日～2020年12月10日 | | 項 目 の 概 要 |
|-------------------|--------------------------------|---------|---------------------------------------------------|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 200円 | 1.848% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,810円です。 |
| (投 信 会 社) | (101) | (0.935) | 委託した資金の運用等の対価 |
| (販 売 会 社) | (89) | (0.825) | 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受 託 会 社) | (10) | (0.088) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 1 | 0.011 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (1) | (0.011) | 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 2 | 0.014 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (2) | (0.014) | 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 | 10 | 0.095 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (5) | (0.050) | 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用・印刷費用等) | (5) | (0.045) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等 |
| 合 計 | 213 | 1.968 | |

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

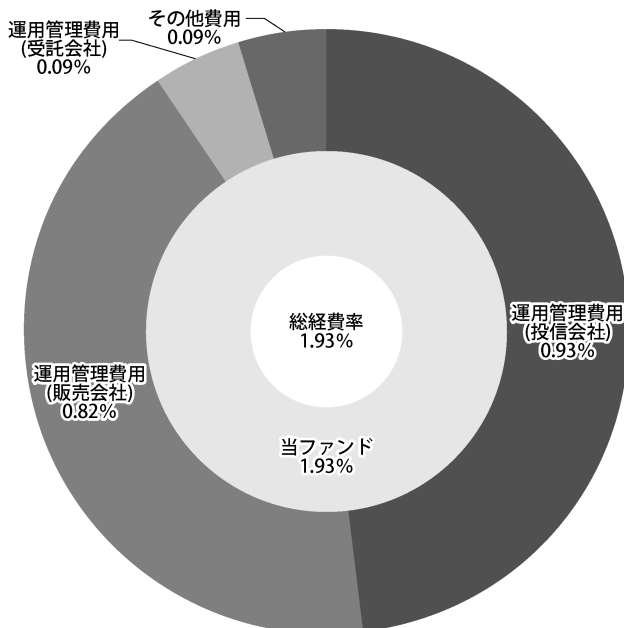
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

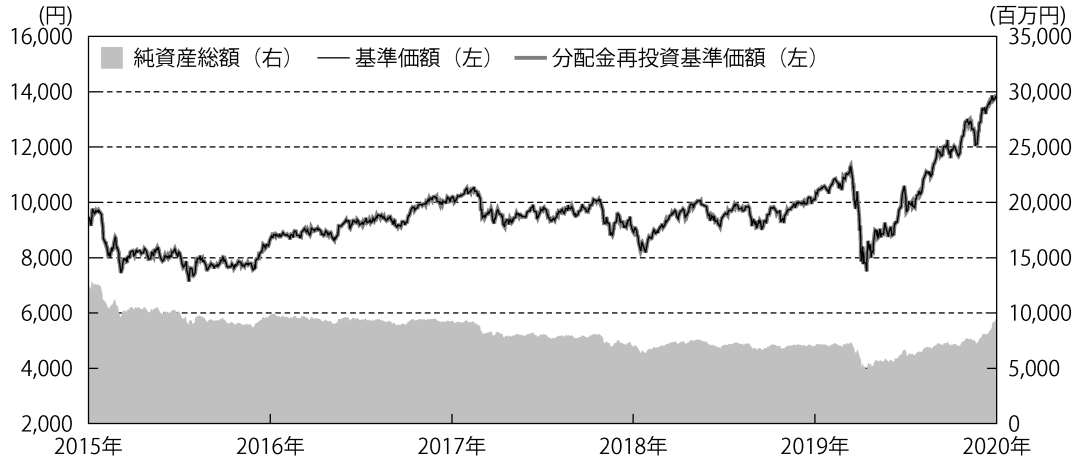
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2015年12月10日～2020年12月10日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

| | 2015年12月10日 | 2016年12月12日 | 2017年12月11日 | 2018年12月10日 | 2019年12月10日 | 2020年12月10日 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 基準価額 (円) | 9,442 | 8,777 | 10,199 | 8,942 | 10,092 | 13,818 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △7.0 | 16.2 | △12.3 | 12.9 | 36.9 |
| 純資産総額 (百万円) | 12,528 | 9,909 | 9,284 | 6,953 | 7,011 | 9,622 |

- 当ファンドはニュー・リソース・マザーファンドへの投資を通じて、グローバルな需要のシフトから、今後成長が期待される3つのテーマ（水、農業、代替エネルギー）に関連する企業の株式を中心に投資を行います。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

(2019年12月11日～2020年12月10日)

当期の世界株式市場で株価は上昇しました。期初から、欧米の低金利長期化観測や米中の第1段階の貿易合意、英総選挙での与党圧勝等を背景にリスク選好の動きが強まり株価は堅調に推移しましたが、2020年2月後半に入ると新型コロナウイルスの感染が世界中で拡大し外出制限措置が取られたこと等から景気悪化懸念が高まり株価は急落しました。しかしその後、感染再拡大が警戒されつつも、各国の大規模な金融緩和や経済対策、欧米の経済活動の正常化やワクチン開発への期待、米国の低金利長期化観測等を背景に株価は反発しました。期末にかけては、米大統領・議会選を受けて増税懸念が後退したことや新型コロナウイルスワクチンの治験で良好な結果が得られたこと等から一段高となり期を終えました。為替市場では、対米ドルでは小幅円高となった一方、対ユーロでは円安となりました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

(2019年12月11日～2020年12月10日)

(当ファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、グローバルな需要のシフト(変化・増大)から、今後成長が期待される3つのテーマ(水・農業・代替エネルギー)に関連する世界各国の企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

(ニュー・リソース・マザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、グローバルな需要のシフト(変化・増大)から、今後成長が期待される3つのテーマ(水・農業・代替エネルギー)に関連する世界各国の企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

個別銘柄では、ESG(環境・社会・ガバナンス)やSDGs(持続可能な開発目標)推進の広がり、欧州のグリーン・リカバリー等が追い風となり、世界各国で太陽光や風力発電の導入拡大が期待されたことから、スペインやノルウェーの太陽光・風力発電所運営会社等を購入しました。一方、米大統領選でバイデン氏が勝利すれば環境インフラ政策が進められるとの見方や同業他社の買収発表等を背景に業績拡大期待が高まり株価が大幅に上昇したアメリカの太陽光発電設置会社等を利益確定のため売却しました。また、肥料の需要や価格をめぐる不透明感が強いと判断したアメリカの肥料メーカー等を売却しました。

■ベンチマークとの差異について

(2019年12月11日～2020年12月10日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■分配金について

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

| | 当 期 |
|-----------|-------------------------|
| | 2019年12月11日～2020年12月10日 |
| 当期分配金 | －円 |
| (対基準価額比率) | －% |
| 当期の収益 | － |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 3,817 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税引前)と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、グローバルな需要のシフト(変化・増大)から、今後成長が期待される3つのテーマ(水・農業・代替エネルギー)に関連する世界各国の企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

(ニュー・リソース・マザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、グローバルな需要のシフト(変化・増大)から、今後成長が期待される3つのテーマ(水・農業・代替エネルギー)に関連する世界各国の企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

世界的に低金利環境の長期化が見込まれるなか、利回り追求の動き等から今後も株式への資金流入が続くと見えています。当ファンドに関連することとしては、米大統領選でバイデン氏の当選が事実となったことから、米国の「パリ協定」への復帰が見込まれるほか、米国が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすると表明すれば世界的に脱炭素の動きが加速する可能性もあり、関連銘柄の追い風になると考えています。運用にあたっては新型コロナウイルスの感染状況や経済対策のほか、各国の景気動向や金融政策、政策支援、為替動向などの業績への影響等を見極めつつ、キャッシュ創出力が高くかつ今後の成長性が期待できる銘柄を中心に投資を行う方針です。

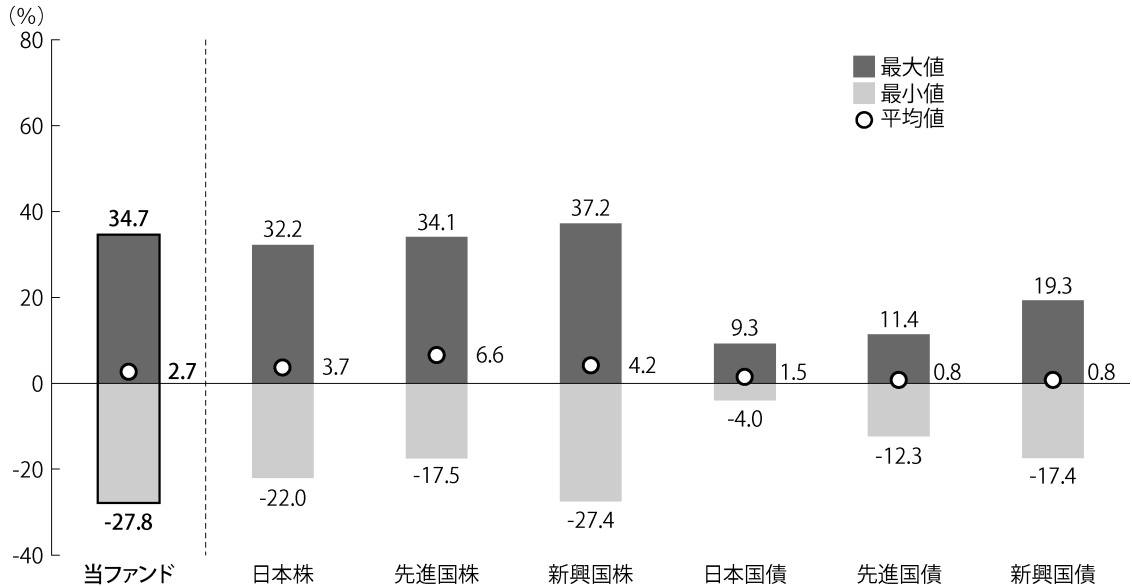
お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 運用方針 | 信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | ニュー・リソース・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | ニュー・リソース・マザーファンド | グローバルな需要のシフト（変化・増大）から、今後成長が期待される3つのテーマ（水・農業・代替エネルギー）に関連する世界各国の企業の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主としてニュー・リソース・マザーファンドへの投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 | |
| 分配方針 | <p>毎決算時（原則として12月10日。ただし、同日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2015年12月末～2020年11月末）



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 平均値 | 2.7 | 3.7 | 6.6 | 4.2 | 1.5 | 0.8 | 0.8 |
| 最大値 | 34.7 | 32.2 | 34.1 | 37.2 | 9.3 | 11.4 | 19.3 |
| 最小値 | -27.8 | -22.0 | -17.5 | -27.4 | -4.0 | -12.3 | -17.4 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2015年12月～2020年11月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I に帰属します。また、M S C I は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はN O M U R A - B P I を用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

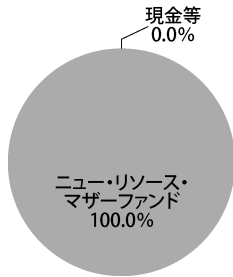
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

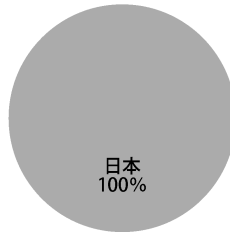
| 項 目 | 当 期 末 |
|------------------|-------------|
| | 2020年12月10日 |
| ニュー・リソース・マザーファンド | 100.0% |

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

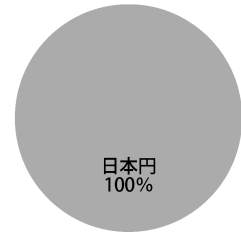
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

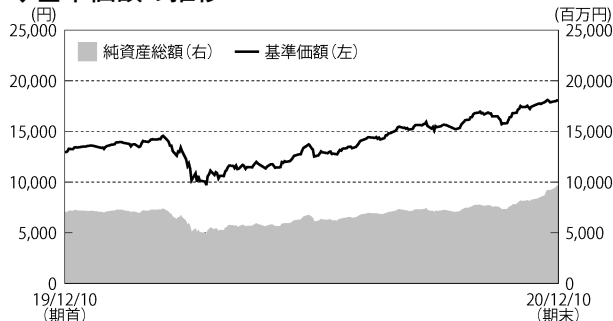
| 項 目 | 当 期 末 |
|---------------------|----------------|
| | 2020年12月10日 |
| 純 資 産 総 額 | 9,622,634,518円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 6,964,015,974口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 | 13,818円 |

当期中における追加設定元本額は1,580,673,318円、同解約元本額は1,564,015,275円です。

■組入上位ファンドの概要

ニュー・リソース・マザーファンド（2019年12月11日～2020年12月10日）

◆基準価額の推移



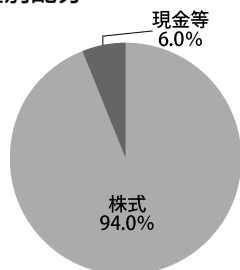
◆上位10銘柄

| | 銘柄名 | 国名 | 通貨名 | 比率 |
|-------|------------------------------|-------|------------|------|
| 1 | DANAHER CORP | アメリカ | アメリカ・ドル | 4.3% |
| 2 | SOLARIA ENERGIA Y MEDIO AMBI | スペイン | ユーロ | 4.0% |
| 3 | AMERICAN WATER WORKS CO INC | アメリカ | アメリカ・ドル | 3.8% |
| 4 | XYLEM INC | アメリカ | アメリカ・ドル | 3.3% |
| 5 | SCATEC ASA | ノルウェー | ノルウェー・クローネ | 3.2% |
| 6 | VESTAS WIND SYSTEMS A/S | デンマーク | デンマーク・クローネ | 3.2% |
| 7 | ORSTED A/S | デンマーク | デンマーク・クローネ | 2.9% |
| 8 | NEOEN SA-WI | フランス | ユーロ | 2.7% |
| 9 | SOLARPACK CORP TECNOLOGICA S | スペイン | ユーロ | 2.7% |
| 10 | DEERE AND CO | アメリカ | アメリカ・ドル | 2.6% |
| 組入銘柄数 | | | 65銘柄 | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

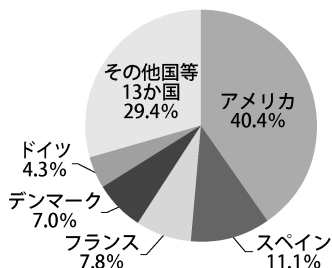
◆資産別配分



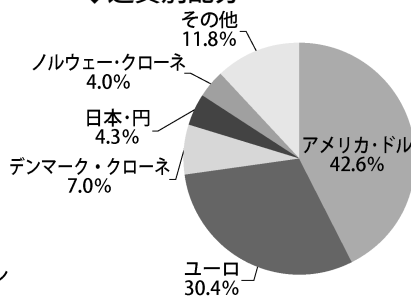
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆国別配分



◆通貨別配分



◆1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|---------------------|-----------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 2円 (2) | 0.011% (0.011) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 2 (2) | 0.014 (0.014) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) その他費用 (保管費用) | 7 (7) | 0.052 (0.049) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (その他) | (0) | (0.003) | 証券投資信託管理事務等に係る費用 |
| 合計 | 11 | 0.077 | |

期中の平均基準価額は14,020円です

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料、(b) 有価証券取引税、(c) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (c) その他費用（その他）にはマイナス金利に係る費用等を含みます。